



目 次

- ◆ [理学部でオープンキャンパスと高校生限定プログラム\(体験入学\)を実施](#)
- ◆ [平成20年度文部科学省委託事業「元素戦略プロジェクト」に採択される](#)
- ◆ [学会賞等の受賞等](#)
- ◆ [国際会議・シンポジウム等の開催](#)
 - 【数学部門】
 - [第33回偏微分方程式論札幌シンポジウム](#)
 - 【物理学部門】
 - [Hokudai-TORIJIN-JUSTIPEN-EFES workshop "Perspectives in Resonances and Continua on nuclei" & JUSTIPEN-EFES-Hokudai-UNEDF meeting](#)
 - 【自然史科学部門】
 - [SIMS Workshop 2008 in Sapporo](#)
- ◆ [外国人研究者受入状況\(2008.07.02~2008.10.01\)](#)
- ◆ [海外からの来訪者\(短期滞在\)\(2008.07.02~2008.10.01\)](#)
- ◆ [外国の研究機関との共同研究](#)
- ◆ [学位授与](#)
 - 平成20年9月25日付け学位授与者
- ◆ [人事異動\(正規職員・非正規職員\)\(H20.07.02~H20.10.01\)](#)
- ◆ [行事予定\(平成20年10月~平成21年4月\)](#)

理学部でオープンキャンパスと高校生限定プログラム (体験入学)を実施

オープンキャンパス

8月3日(日)、4日(月)の両日北海道大学オープンキャンパスが行われ、理学部においてもこの2日間に、高校生や保護者、一般市民の皆さんに北大を知っていただくための「自由参加プログラム」が実施されました。

5号館低層棟2階の大講堂に道内外187校から849人(道内650人、道外199人)が参加しました。

山口学部長の歓迎の挨拶に続いて、各学科長・学科員等から学科・分野の教育内容等について紹介が行われ、高校生たちは真剣な眼差しで聞き入っていました。

大学院生による研究発表会、教員による模擬講義及び学生による模擬実験を行い、また、学生による相談コーナーを設けました。

高校生限定プログラム(体験入学)

8月4日(月)に理学部において高校生限定プログラム(体験入学)が行われました。

この「高校生限定プログラム」は、高校生に、自然科目への関心を引き起こすとともに、理学部で行われている教育・研究の実際を理解してもらうため、「体験入学」として始められ、今年で17回目になります。

1学科2学科目が「高校生限定プログラム」に取り組み、計10コースが実施されました。

今年の「高校生限定プログラム」には、道内からの18校を含め29校から合計51名もの高校生が参加しました。

「高校生限定プログラム」終了後、各コースにおいて修了証書授与式が行われました。

「高校生限定プログラム」に参加した高校生からは、多くの感想が寄せられました。以下に高校生から寄せられた感想のうち、各コースに関係する一部を紹介いたします。

《感想文の抜粋》

1) 動物の作り方となおし方：発生と再生を学ぶ

- 研究室にアフリカツメガエルが沢山いるのを見て心おどる思いでした。研究室での研究は自分が将来行いたいことであり、研究室の楽しい雰囲気につれ早く大学に進学したくなりました。
- 研究室に入室出来てうれしかった。実験器具も普段高校では見られないようなものばかりで、研究室にいただけで楽しかった。顕微鏡の操作に少し時間がかかったが、見れたときに感動しました。今回の体験を通じて早く北大理学部に入學し、卒業後に博士課程に進学しさまざまな研究をしたい。

2) カエルとメダカの人工授精：一個の卵から複雑な体が作られる不思議な体験をしよう

- メダカを解剖して精巣を取り出す作業やカエルの卵を押し出す作業、顕微鏡受精の実験等高校では体験できない実験ができ、体験入学を有意義に思いました。
- 人工授精をするときには、メダカを殺したり、カエルから無理に卵を取り出したりするのを知ってかわいそうだと思います。でも、実験をするためには仕方ないということを知りました。
カエルの人工授精が成功して、教科書に出てくるような受精卵を観察することが出来てうれしかったです。

3) 海藻とプランクトンの多様性を探る

- 物理学を学びたいと思っているので余り知らない分野でしたが、大学院生が優しくとても丁寧に教えてくださったので、生物について何も知らない私でも、テーマの内容が理解でき、また楽しめた。
今回は生物関連のプログラムしかなく、他の分野を学びたい生徒にとっては戸惑う面もあったので、次回には各学科のプログラムをお願いします。
- 北大理学部の様子を生で知ることができてよかった。普段高校では使えないような装置を使い観察したり、写真を撮ったりするのが珍しく、さすが大学と思いました。
日常生活では関わることのできない先生方や大学院生の方、大学生が身近に感じられました。

4) 生物学からみた動物コミュニケーション：小鳥のさえずりからヒトの言語を考える

- 普段見ることのできない研究室の様子や実験などを見ることができ、貴重な経験になりました。音を聞いて学修する鳥と、そうでない鳥がいることにはとても驚きました。
脳にも密接に関わっているということに、写真などを見せていただいたうえ実際のもので顕微鏡で見ることができ、本当なのだと思感し、また感動した。
- 研究者になるということは、世界の同じ研究をしている人々と競争しなければならず、自分にしかできない研究をしなければならない。また、その研究がどのような点で人間の役に立つかということも明確でないといけない。これらの事を今日先生から教わって、このような力を見つければ大学であり、見つけるには本当に何を学びたいのか、また何を研究したいのかをはっきりさせることが重要であることを学びました。

5) 頭はどうやってできる？—動物の形作りに働く遺伝子の機能を調べる—

- 一番印象に残ったことは、双頭のオタマジャクシを蛍光色で見ることができたことです。大学には普段絶対に見ることができないような高価な実験器具が沢山あり、おどろきました。このような環境の中で学習し研究することができるのは素晴らしいと思います。
- 少人数単位だったこともあり、非常に丁寧に教えて下さり、楽しい時間を過ごすことができました。私は北大に入学して、発生や再生などを勉強し、他の学問との融合も含めて社会に貢献するのが夢で、今回の体験はそれに合ったものなので有意義でした。

6) ゲル ―生物に最も近い人工物―

- ゲルというものが、どういうものであるのかを分かりやすく教えてもらい、楽しかった。また、身の回りには、知らないだけで様々なゲルがあること、例えば豆腐やコンタクトレンズやゼリーなどがそうであるという事は今回参加しなければずっと知らないままであったかもしれないと思いました。
- 収穫の多い一日でした。北大での大学生活についていろいろ聞いたことがためになりました。操作が難しそう器具を実際に使ってみたいです。
北大はとてもレベルの高い大学だと承知していますが、学生の方々はとても明るく、親しみやすかったです。

7) 細胞内のタンパク質を光らせてみよう

- 実験だけでなく、生物の細胞に関する知識なども教えてもらい、ためになりました。実験の仕方は単純なことの繰り返しで、うまく量を量って入れるのに時間がかかりました。最初はどのようにタンパク質を光らせるのか分かりませんでした。実験をしているうちに分かってきました。最後に観察するとき、タンパク質が光っているのを見ることができてよかったと思います。
- 私は「生物系のことを勉強したい」という漠然としたビジョンしかなかったのですが、生物といっても原子から個体まで、物理系や化学系などすごく範囲が広いということを知って興味が高まるとともに、また自分が何をやりたいのか分からなくなりました。研究者は、様々な知識をもとに、目的を目標に研究していることに感動しました。

8) 生体分子の構造変化を追跡しよう・生体分子（糖、アミノ酸など）の化学修飾とそれに伴う構造変化、物

性変化を分析する

- グルコースや酢酸など知っている物質が使われたので少し理解できたが、初めて聞く単語も多く難しかった。
高校では出来ない実験や色々な施設を見学できてためになりました。
- 実験を担当してくださった先輩方の説明も丁寧でとても安心できました。実際に実験室や器具を使えたのでとても良かったです。
実験の結果をNMRというもので表示してもらったのですが、よく分かりませんでした。もう少し実験器具や内容を説明するともっとおもしろいと思います。

9) アトムの磁力でタンパク質をしらべつくす

- 先生や学生の方がとても面白く、一緒に昼食を食べたりお茶を飲んだりできて楽しかったです。実験室で色々な実験を行ったり、研究室で大学生活を楽しみたいと思います。
- 最初は何をやるかよくわからず不安でしたが、先生の説明が分かりやすくとても興味がありました。内容は高校の範囲を超えていて難しいところも多かったのですが、高校の内容に通じるところもありためになりました。分子のモデルを組み立てるのがとても楽しかったです。

10) DNA鑑定をしてみよう：法医学者として、犯行現場から採取されたDNAサンプルと5人容疑者から得

たDNAサンプルを比較することにより、犯人を識別する

- DNAとか分からないままでしたが、今日の実験を通じて身近に感じました。使ったことのない実験器具を使うのは緊張したけれども、楽しかった。研究室が見学でき、良い経験になりました。
- 実験内容をはじめにしっかり学んでから実験をしたため、今何をしているのか分かりながら作業ができ楽しかった。



(山口学部長の歓迎の挨拶)



(学生による模擬実験)

(体験入学での実験)



[<< Back to TOP](#)

[Next Page >>](#)

平成20年度文部科学省委託事業「元素戦略プロジェクト」に採択される

このプロジェクトは、「第3期科学技術基本計画」の重点推進4分野のひとつである「ナノテク・材料分野」に列挙される「戦略重点科学技術」のうち、「資源問題解決の決定打となる希少資源・不足資源代替材料革新技術」の研究開発に位置付けられ、平成19年度より開始されています。物質・材料を構成し、その機能・特性を決定する元素の役割・性格を研究し、物質・材料の機能・特性の発現機構を明らかにすることで、希少元素や有害元素を使うことなく、高い機能をもった物質・材料を開発することを目的とします。今年度の採択5課題のひとつとして、下記の課題が採択されました。

課題名：貴金属フリー・ナノハイブリッド触媒の創製

研究代表者：理学研究院化学部門 魚崎 浩平

研究計画の概要：社会の持続的発展に不可欠な再生可能エネルギーシステムの実現に向けて、貴金属フリー触媒の開発を目指す。具体的には、白金系触媒を超える燃料電池電極触媒の実現を目標に、水素や酸素分子を効率的に活性化する非貴金属複合体を開発し、これらを配列制御した高活性ナノ界面を構築する。また、高効率光エネルギー変換素子を目標に、光誘起多電子移動触媒機能を示す非貴金属錯体の開発と高効率ナノ界面の構築を行う。

学会賞等の受賞等

北海道大学大学院理学研究院 化学部門 講師（無機・分析化学分野）分島 亮氏は、論文「希土類元素を含む遷移金属化合物の合成、構造および磁性」により、平成20年5月29日、日本希土類学会から奨励賞（足立賞）を受賞されました。

国際会議・シンポジウム等の開催

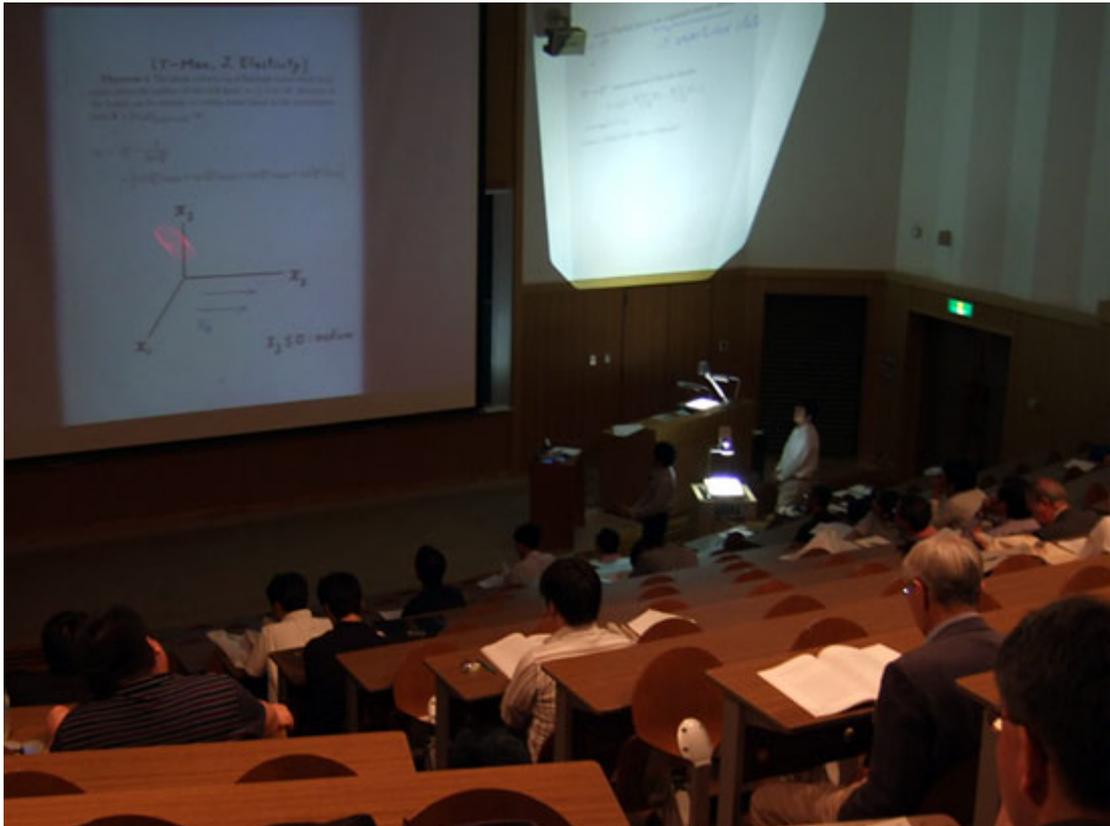
○ 第33回偏微分方程式論札幌シンポジウム 【数学部門】

第33回偏微分方程式論札幌シンポジウムが8月26日（火）から28日（木）の3日間にわたり、北海道大学理学部5号館大講義室（5-203室）において開催されました。

国内外の偏微分方程式などを専門とする研究者が集まり、1時間講演が7つ、30分講演が5つ、合計12の研究発表が行われました。シンポジウム組織委員会は著名な研究者だけでなく、ポスドクや院生にも講演を依頼しています。参加者は77名で、国内の数学の研究集会としては大きな規模のものです。偏微分方程式を中心とした解析学をテーマとし、近年応用系の研究発表が主流になってきています。

この研究集会は毎年、講演発表以外に講演者との討論時間を設けていることが特徴です。今年も研究交流や議論が活発に行われました。

（組織委員代表：津田谷公利）



○ Hokudai-TORIJIN-JUSTIPEN-EFES workshop
“Perspectives in Resonances and Continua on nuclei”
& JUSTIPEN-EFES-Hokudai-UNEDF meeting

【物理学部門】

主催：北海道大学原子核理論研究室

日本学術振興会先端研究拠点事業 エキゾチックフェムトシステム研究国際ネットワーク
(EFES)

東大一理研共同核物理国際プログラム (TORIJIN)

米国DOE事業 Japan-US Theory Institute for Physics with Exotic Nuclei (JUSTIPEN)

開催期間：平成20年7月21日から25日

会場：大沼国際セミナーハウス

出席人数：69名

世話人：加藤 幾芳 (理学研究院 物理学部門)

○ SIMS Workshop 2008 in Sapporo

【自然史科学部門】

主催：北海道大学創成科学研究機構産業利用拡大支援室

開催期間：平成20年8月4日から6日

会場：北海道大学創成科学研究機構棟

出席人数：22名

世話人：坂本 尚義、伊藤 正一 (自然史科学部門)

外国人研究者受入状況

期間：2008年07月02日～2008年10月01日

(受入れ部門名：数学)

年月日 (期間)	来訪者 (国名・所属・職名・氏名)	目的 【経費等・受入教員】
2007.04.01 -2008.09.19 【再掲】	インド：C.C.S. University, Meerut 研究員 Punam Phartyal	研究打合せ 【私費(研究者本人負担)・井上 昭彦】
2007.10.09 -2009.10.18 【再掲】	オランダ：University Libre de Bruxelles 研究員 Otto van Koert	研究打合せ 【日本学術振興会事業・小野 薫】
2007.10.20 -2008.10.20 【再掲】	中国：North East Normal University 研究員 陳 亮	研究打合せ 【私費(研究者本人負担)・泉屋 周一】

(受入れ部門名：化学)

年月日 (期間)	来訪者 (国名・所属・職名・氏名)	目的 【経費等・受入教員】
2007.10.01 -2009.03.31 【再掲】	中国：北海道大学大学院理学研究院 博士研究員 趙 健偉	グローバルCOEプログラム 「触媒が先導する物質科学イノベーション」 に 関する研究 【北海道大学・村越 敬】
2008.04.12 -2010.03.31 【再掲】	中国：中国科学院 長春応用化学研究所 研究生 史 立紅	博士研究員として研究活動 【グローバルCOEプログラム・魚崎 浩平】
2008.06.28 -2008.12.31 【再掲】	カナダ：サイモン・フレイザー大学 修士課程2年 姜 志峰	特別研究学生として研究活動 【外国政府、研究機関及び国際機関・魚崎浩平】
2008.08.01 -2009.05.31	ロシア：ロシア科学アカデミー・ ヨッフエ物理-工学研究所 Mikhail V. Lebedev	外国人招へい研究者として研究活動 【日本学術振興会事業・魚崎 浩平】
2008.08.11 -2009.10.26	インド：北海道大学大学院理学研究院 博士研究員 Pankaj R. Singh	博士研究員として研究活動 【受託・共同研究費・魚崎 浩平】

(受入れ部門名：自然史科学)

年月日 (期間)	来訪者 (国名・所属・職名・氏名)	目的 【経費等・受入教員】
2007.06.09 -2009.06.08	ロシア連邦：ロシア科学アカデミー 太陽地球物理研究所	稠密GPS網を利用した地震に伴う電離層 擾乱に関する研究

【再掲】	Junior Research Scientist ・ Elvira I. Astafyeva	【日本学術振興会事業・日置 幸介】
------	--	-------------------

(受入れ部門名：地震火山研究観測センター)

年月日 (期間)	来訪者 (国名・所属・職名・氏名)	目的 【経費等・受入教員】
2008.04.01 -2008.08.20 【再掲】	ロシア連邦：ロシア国立極東大学環境学部 講師 Nikolay Shestakov	ロシア極東・サハリン・カムチャッカ地域の広域 テクトニクスについてのデータ解析化・モデル化 【北海道大学・高橋 浩晃】
2008.05.08 -2008.08.31 【再掲】	フィリピン：フィリピン火山地震研究所 研究員 Mon Pierre Menguito	フィリピンの火山の地殻変動の研究 【国際協力機構・村上 亮】
2008.09.15 -2009.03.31	エチオピア：Department of Earth Sciences, Addis Ababa University Associate Professor Lulseged Ayalew Yimam	GISによる地球物理データの統一マッピングと データ間の相関に関する研究 【北海道大学・笠原 稔】

(受入れ部門名：総合博物館)

年月日 (期間)	来訪者 (国名・所属・職名・氏名)	目的 【経費等・受入教員】
2007.10.17 -2008.09.15 【追加報告】	米国：ワシントン大学人類学科 博士課程院生 James W. Taylor	オホーツク集団の移住と動物獲得について、 アイソトープ同位元素を用いた分析により、 オホーツク集団およびその利用動物の系統と 分布に関する仮説の検証 【科学技術振興機構・天野 哲也】

海外からの来訪者(短期滞在)

期間：2008年07月02日～2008年10月01日

【受入れ部門名：数学】

年月日 (期間)	来訪者 (国名・所属・職名・氏名)	目的 (受入教員)
2008.07.20 -07.23	台湾：台湾国立大学 教授 Jenn-Nan Wang	研究打合せ (中村 玄)
2008.07.21 -07.23	フランス：Ecole Normal Supérieure de Lyon 教授 Cédric Villani	特別講演 (坂上 貴之)
2008.08.23 -09.01	中国：復旦大学 講師 Wang Shengzhang	研究打合せ (中村 玄)
2008.08.25 -08.30	中国：Tongji University 教授 Bendong Lou	研究集会「第33回偏微分 方程式論札幌シンポジウ ム」 への参加と講演 (神保 秀一)
2008.09.03 -09.12	台湾：台湾国立成功大学 准教授 Ching-Lung Lin	研究打合せ (中村 玄)
2008.09.14 -09.20	中国：復旦大学 教授 Jin Cheng	研究打合せ (中村 玄)
2008.09.17 -09.27	オーストラリア：Australian National University 教授 Derek Robinson	研究打合せ (岸本 晶孝)

【受入れ部門名：物理学】

年月日 (期間)	来訪者 (国名・所属・職名・氏名)	目的 (受入教員等)
2008.07.15 -08.07	フランス：GANIL 研究員 Marek Ploszajczak	研究討論 (加藤 幾芳)

【受入れ部門名：自然史科学】

年月日 (期間)	来訪者 (国名・所属・職名・氏名)	目的 (受入教員等)
2008.07.09 -07.19	米国：ウェスレヤン大学 助教授 James Greenwood	共同研究 (塚本 尚義)
2008.08.03 -08.11	米国：ハワイ大学マノア校 研究員 Alexander Krot	共同研究 (塚本 尚義)

【受入れ部門名：生命理学部門】

年月日 (期間)	来訪者 (国名・所属・職名・氏名)	目的 (受入教員等)
2008.07.31 -08.06	ハンガリー：センメルヴェイス大学医学部 教授 Andras Csillag	共同研究 (松島 俊也)

2008.08.01 -08.05	中国：西安交通大学大学院理学研究科 教授 趙 翔	講演 (龔 劍萍)
2008.09.09 -09.11	中国：Chinese Academy of Sciences 教授 Charles C. Han	講演 (龔 劍萍)

【受入れ部門名：地震火山研究観測センター】

年 月 日 (期 間)	来 訪 者 (国名・所属・職名・氏名)	目 的 (受入教員等)
2008.07.15 -07.17	韓国：海洋調査開発研究所 主任研究員 Han-Joon Kim	情報交換 (高波 鐵夫)
2008.07.15 -07.17	韓国：海洋調査開発研究所 主任研究員 Hyeong-Tae Jou	情報交換 (高波 鐵夫)
2008.09.22 -09.30	ノルウェー：University of Bergen 博士課程院生 Audun Libak	データ解析 (村井 芳夫)

外国の研究機関との共同研究

【実施部門名：地震火山研究観測センター】

研究課題名 (共同研究実施期間)	相手先 (国・研究機関・代表者職・氏名)	経費等 受入教員
体積ひずみ計データに基づく地震前後の 地殻ひずみ調査 (1993年～)	米国・カーネギー研究所 主席研究員・I. Selwyn Sack	奨学寄付金 高波 鐵夫
日欧共同海底地震観測による 北大西洋中央海嶺のテクトニクスに関する研究： ノルウェー・ベア島沖の海域における 海底地下構造の推定 (2008. 4. 1～2009. 3.31)	ノルウェー・ベルゲン大学 教授・Rolf Mjelde	奨学寄付金 村井 芳夫

学位授与

平成20年9月25日付け学位授与者

【課程博士】（理学研究科5名）

田中 あや（化学専攻）

Preparation of nanostructure using molecular recognition of sequence-designed DNA
(塩基配列がデザインされたDNAの分子認識によるナノ構造体の作製)

主査 教授 居城 邦治

武尾 真（生物科学専攻）

Studies on regeneration in *Enchytraeus japonensis* (Annelida, Oligochaeta), by using molecular biological tools

(分子生物学的手法を用いたヤマトヒメミミズの再生に関する研究)

主査 准教授 栃内 新

安井 雅範（生物科学専攻）

Mutational analysis of function of Ca^{2+} -dependent type II antifreeze protein from Japanese smelt
(ワカサギ由来カルシウム依存型II型不凍タンパク質の変異導入による機能解析に関する研究)

主査 教授 出村 誠

楊 薇（生物科学専攻）

Self-Assembling Behaviors in Solutions and Gels of a Semi-Rigid Polyelectrolyte PBDT
(水溶液中及びゲル中における半剛直高分子電解質PBDTの自己組織化)

主査 教授 龔 劍萍

小松 研吾（地球惑星科学専攻）

衛星観測とモデリングによる地球放射線帯の研究

主査 教授 渡部 重十

人事異動

対象期間：平成20年7月2日～平成20年10月1日

<正規職員>

平成20年8月16日付け発令

(辞職)

物理学部門

非線形物理学分野 助教

古川 裕次

平成20年8月31日付け発令

(辞職)

数学部門 教授

小澤 徹

平成20年9月30日付け発令

(辞職)

数学部門 助教

福泉 麗佳

平成20年10月1日付け発令

(採用)

数学部門 教授

神戸大学大学院理学研究科准教授から

高岡 秀夫

生命理学部門生命機能科学分野 准教授

埼玉医科大学医学部講師から

小川 宏人

化学部門無機・分析化学分野 准教授

京都大学大学院工学研究科助教から

張 浩 徹

<非正規職員>

(採用、配置換)

H20. 8. 1	地震火山研究観測センター	学術研究員	スベシュ ギミレ
H20. 8.11	化学グローバルCOE	博士研究員	パンカージ シン
H20. 9. 1	物理学部門	技術補助員	村上 貴臣
H20. 9. 1	物理学部門	技術補助員	水川 零
H20. 9. 1	自然史科学部門	学術研究員	千秋 博紀
H20. 9.15	地震火山研究観測センター	特任准教授	アヤール ルルセゲド イーマン

H20. 9.16 自然史科学部門	博士研究員	杉 山 耕一朗
H20.10. 1 物理学部門	学術研究員	須 田 拓 馬

(任期满了退職、辞職、転出)

H20 .8.20 地震火山研究観測センター	特任准教授	ニコライ シェスタコフ ウラジミロ ビッチ
H20. 8.29 化学グローバルC O E	博士研究員	趙 健 偉
H20 .8.30 数学部門	学術研究員	ジェイソン チョン
H20. 8.31 化学部門	技術補佐員	野 村 朋 子
H20. 8.31 自然史科学部門	学術研究員	野 沢 貴 也
H20. 9.30 数学部門	学術研究員	山 内 雄 介
H20. 9.30 数学部門	技術補助員	亀 田 優 子
H20. 9.30 数学部門	事務補助員	木 嶋 麻由子
H20. 9.30 物理学部門	特任助教	須 田 拓 馬
H20. 9.30 物理学部門	学術研究員	石 塚 知香子
H20. 9.30 物理学部門	博士研究員	岡 橋 毅
H20. 9.30 生命理学部門	博士研究員	敷 中 一 洋

行事予定

〈平成20年10月～平成21年4月初旬〉

月	日	曜	事 項
9	29	月	全学教育・理学部・大学院理学院授業開始
10	3	金	学位申請(10月付託)締切
	7	火	学部生(平成17年度以前入学者)履修届受付【～8日(水)】 学部生(平成18年度以降入学者)履修届Web入力【～10日(金)】
	10	金	秋季特別入試出願期間【～16日(木)】
	14	火	AO入試出願受付期間【～21日(火)17:15必着】
	14	火	大学院履修届受付【～17日(金)】
11	5	水	AO入試第1次選考結果通知
	14	金	12月学位授与予定者の審査報告関係書類提出締切
	16	日	AO入試第2次選考日
	19	水	秋季特別入試選抜試験【～21日(金)中の1日】
12	21	金	博士学位申請(12月付託)締切
	2	火	AO入試第2次選考結果通知
	5	金	AO入試合格者入学手続き【～11日(木)17:15必着】
	11	木	大学院理学院第二次入試出願資格予備審査申請期間【～18日(木)】
	25	木	全学教育部・理学部・理学院冬季休業【～1月5日(月)】
1	26	金	博士学位申請(1月付託)締切
	6	火	全学教育・理学部・大学院理学院授業再開
	8	木	大学院理学院第二次入試出願資格予備審査結果通知【16:30頃】
	9	金	大学院理学院修士(博士前期)課程・博士後期課程第二次入学願書受付【～15日(木)】
	17	土	大学入試センター試験【～18日(日)】【16日(金)休講】
	28	水	月曜日の授業振替補講日
2	30	金	転学・転部・転科・編入学・再入学申し出締切
	3	火	月曜日の授業振替補講日・第2学期授業終了
	4	水	大学院・学部専門科目補講・集中講義期間【～20日(金)】
	5	木	【4日(水)午後～6日(金)原則休講:条件により一部は実施可】 大学院理学院修士(博士前期)課程・博士後期課程第二次入学試験【～6日(金)】
	10	火	修士論文題目提出締切
	13	金	3月学位授与予定者の審査報告関係書類提出締切
	16	月	研究生・聴講生・科目等履修生入学願書受付【～20日(金)】
3	20	金	博士学位申請(3月付託)
	25	水	本学第2次入学試験(前期日程)【24日(火)試験場設営】
	5	木	大学院理学院修士(博士前期)課程・博士後期課程入学試験合格者発表【16:30頃】 研究生・聴講生・科目等履修生入学許可通知【16:30頃】
	上～中旬		学科等分属手続き(平成17年度以前入学者のみ対象)
	12	木	本学第2次入学試験(後期日程)【11日(水)試験場設営】
	25	水	学位記授与式
4	27	金	学位申請(4月付託)締切
	2	木	大学院理学院入学式
	6	月	大学院・学部専門科目授業開始
	7	火	学部新入生オリエンテーション及びガイダンス
	8	水	北海道大学入学式